

第 3 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	プライマリ・ケア医のための小児救急初療コース (T&A コース)- シミュレーションで学ぶ小児救急の ABC-
----------	--

開催の目的	プライマリ・ケア医が日常診療や夜間急患などで小児診療に携わる機会が多い。本ワークショップを通して、受講生は症候別に見逃してはいけない疾患を想定し、見た目や全身状態から緊急性や重症度が高い患児をトリアージして適切な処置を施しながら小児科に相談・連絡できる能力を身につけることを目的としている。																					
対象	■ 診療所医師 ■ 病院勤務医 ■ 初期研修医 ■ 後期研修医 ■ 看護師 ■ 学生																					
定員	定員：30 名 （5 人/1 島× 6 グループ）																					
講師名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">司会</td> <td style="width: 30%;">茂木 恒俊</td> <td style="width: 55%;">（飯塚病院総合診療科）</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>大杉 泰弘</td> <td>（飯塚病院総合診療科）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児玉 和彦</td> <td>（和歌山生協病院 小児科）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>土肥 直樹</td> <td>（相模原市 国民健康保険 内郷診療所）</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー</td> <td>牟田 広美</td> <td>（飯塚市立病院 小児科）</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>一ノ瀬 英史</td> <td>（飯塚病院 総合診療）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>来住 和美</td> <td>（洛和会音羽病院栄養科）</td> </tr> </table>	司会	茂木 恒俊	（飯塚病院総合診療科）	講師	大杉 泰弘	（飯塚病院総合診療科）		児玉 和彦	（和歌山生協病院 小児科）		土肥 直樹	（相模原市 国民健康保険 内郷診療所）	アドバイザー	牟田 広美	（飯塚市立病院 小児科）	講師	一ノ瀬 英史	（飯塚病院 総合診療）		来住 和美	（洛和会音羽病院栄養科）
司会	茂木 恒俊	（飯塚病院総合診療科）																				
講師	大杉 泰弘	（飯塚病院総合診療科）																				
	児玉 和彦	（和歌山生協病院 小児科）																				
	土肥 直樹	（相模原市 国民健康保険 内郷診療所）																				
アドバイザー	牟田 広美	（飯塚市立病院 小児科）																				
講師	一ノ瀬 英史	（飯塚病院 総合診療）																				
	来住 和美	（洛和会音羽病院栄養科）																				
概要	<p>小児 T&A では、様々な症候における初期対応（トリアージ）をまずは A B C で評価している。A B C とは、Appearance（見た目）、Breathing（呼吸状態）、Circulation to skin（皮膚の循環）を意味している。はじめに、見た目の第一印象を具体的に評価する事をワークショップの中で講義とシミュレーションを行い、各症候別のシミュレーションを同様に行っていく。シナリオはトリアージ以外に発熱や熱性けいれん、嘔吐の症候を今回のワークショップでは扱う予定。受講生は医師役を行い、シナリオに沿ったシミュレーションを通して知識の確認と評価を行っている。シナリオの設定は入院設備を持たない夜間 1 次救急診療所である。</p> <p>シナリオは柳澤正義監修「小児初期救急診療ガイドブック」（2004 年、へるす出版刊）に準拠しており、事前にへるす出版に対して文書で著作権許諾を申請して許可を得たものを使用している。</p>																					